

有料老人ホーム藤の華で共に生きる

医療法人 良秀会
有料老人ホーム 藤の華



コロナ禍で一変した生活

イベントなど、楽しみが制限される日々

有料老人ホーム藤の華では、毎月のイベントや、季節ごとに初詣やお花見・納涼祭、他にも車で外食やご家族とランチに出かけたリ、外泊や買い物に自由に過ごしていたのですが、このコロナ禍においては、入居者さまにとっては今までに経験したことのない制限の多い生活となっていました

ご家族にも会えない

中でも一番辛いのは、やはり面会禁止となり大切な

家族と会えなくなったことです

寂しさや不安から体調を崩してしまう方も多く、認知症の進行や、体力・気力の低下もみられました
また、外に出られないストレスから、イライラ感が募ったり、うつ状態を引き起こす方もおられました
制限のある生活が長く続くことで心身ともにお疲れの入居者さまを目的の当りにし、私たちスタッフは、少しでもこのような状態を改善して喜んでいただくことはできないものかと、話し合いを重ねました

憂鬱な気持ちを少しでも軽く

オンラインイン面会

海外など遠方にお住まいのご家族とも、オンラインで繋がり顔を見てお話をすることができ、沈みがちだった入居者さまの表情は、徐々に明るさを取り戻すようになりました

「新しい生活様式に合わせたイベント

初詣は、手作りの鳥居や賽銭箱・鈴を作り、サブリング（小さな



リビングルームで、密を避けながらお一人ずつ参拝しました

また、夏に行ったは機械を使った一人流しうめんは、多くの利用者さまに好評でした

その他にも外食レクリエーションとして、感染対策を徹底したうえで、おやつやお好み焼き作りを楽しんでいただきました



藤の華での看取り介護

コロナ禍を経験し、入居者さまやご家族より看取り介護についてのご意見が多く寄せられました

延命治療は望まない

最期の時間を家族と一緒に過ごしたい



入居者さま

病院ではなく住み慣れた藤の華の居室で、信頼関係のあるスタッフと看取りたい

家族が最期を迎える心の準備ができた

スタッフに何でも相談ができるので、安心した



ご家族

感染予防の面会制限でずっと逢えなかったが、やっと一緒に過ごすことができた